ニューグリップシーマー　ズボン＆スカート兼用

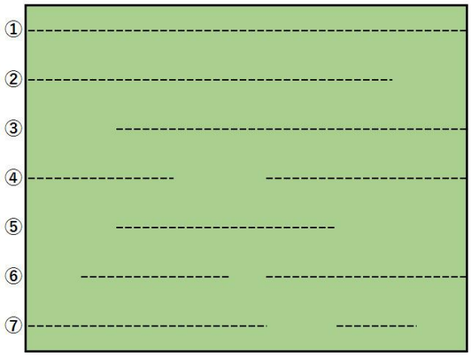
Model U-3111-D/1000

YUHO

http://www.yuhomac.com

バリエーション豊富な縫い仕様

多彩な縫い仕様が可能です。



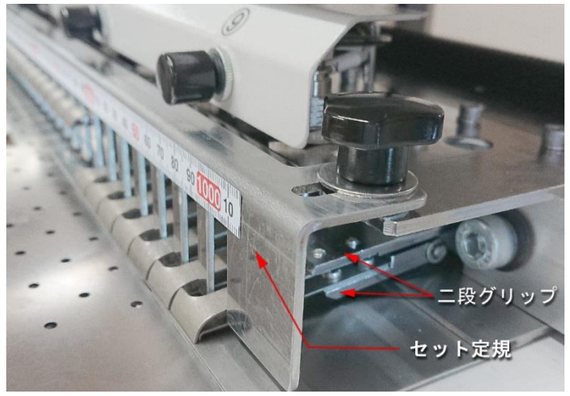
納品時に必要な搬入口のサイズについて

スタッカー部を取り外すことにより、700 mm x 1,600 mm のサイズの搬入口で搬入が可能です。

オプション：　ウォッチポケットのセット定規

ズボンの帯付け工程では、ベルト縫い線とウォッチポケット口を正確に合わせる必要が生じます。この工程でウォッチポケット位置を正確にセット出来る定規をオプションとしてご用意しています。

この装置はズボンのサイズに応じて左右移動が自由に行え、また脱着もワンタッチで行えます。



【 仕様 】

★ 使用頭部	JUKI DDL-9000B
	（1 本針本縫い　ダイレクトドライブ　自動糸切ミシン）
★ 最大縫い長さ	1,008 mm
★ 縫い代	8 ～ 25 mm
★ テーブル高さ	1,020 mm
★ 消費電力	200 V / AC　700 VA
★ 消費エアー	0.5 MPa, 15 ℓ/min.
★ 本体寸法	W 2,150 x D 1,100 x H 1,400 mm

【 主な装備 】

★ 上下 2 段グリップ装置
★ 上下サンドイッチ送り方式
★ 液晶タッチパネル
★ スタッカー装置
★ 糸切れ検知装置 （T.B.D.）
★ エアーガン

【 能力 】

★ ズボン	600 本 / 8h.（余裕率 20%）
★ スカート	400 着 / 8h.（余裕率 20%）

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●製造元　株式会社 友縫機械
since 1968
〒451-0053 名古屋市西区枇杷島 5 丁目 3 番 1 号
Tel: 052-522-6276
Fax: 052-531-9270
Email: yuho@yuhomac.com
URL: http://www.yuhomac.com

YUHO

http://www.yuhomac.com

ニューグリップシーマー
ズボン＆スカート兼用

Model U-3111-D/1000

上下別々に掴む・離すが自由に行える
画期的なグリップシーマー

コンピューター制御と液晶タッチパネルで
従来モデルでは不可能だった難工程の
自動化を実現しました。

YUHO SEWING MACHINE

作成 2019.11

YUHO

ニューグリップシーマー　ズボン＆スカート兼用

Model U-3111-D/1000

画期的な上下二段押さえ保持装置

本グリップシーマーは、厚い段差のある箇所でも確実に押さえる 16 ㎜幅の板バネを採用し、1 段が 112 ㎜幅の横 9 連(トータル 1,008 ㎜)、これが計 2 段で構成され、1 個 1 個をグリップスイッチにより自由自在に掴む・離すの操作が行えます。
また、上下一緒に掴んで送る上下送り機構により、目飛びや素材のズレを完璧に解消します。その他、3～4 枚重ねなど、セットが困難な工程や、特に毛足の長い繊維のヴェルベット、キルティング、縫いズレの生じやすいニット素材など、多様な素材、仕様に応じて中間での縫い止め、飛ばし縫い、途中からの縫い出しなどが可能です。
但し、曲線は直線にセット可能な範囲のものに限ります。

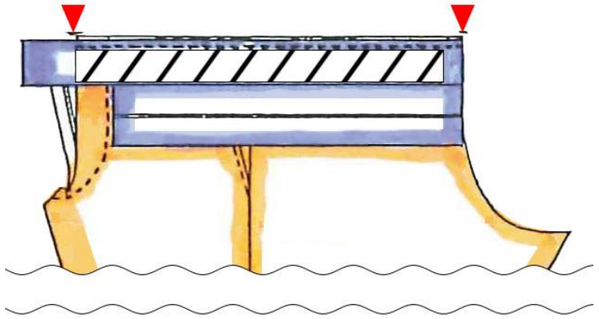
1 ㎜のズレもなく難素材を地縫い

難素材どうしの縫い合わせで、1 枚が伸びない素材、もう 1 枚がニット等の大変伸びる素材やバイアス地等のケース、或いは大変滑りやすい素材や、逆に大変滑りの悪い素材等の縫い合わせのケースでも、2 枚を別々にグリップして縫い合わせることが可能で、しかも 1 ㎜のズレもなく縫い合わせが行える、他にはない特長を備えています。

液晶タッチパネルで抜群の操作性

各種パラメーターの設定や変更、修正は、液晶タッチパネルの画面に軽く触れるだけ。運転時の、或いは補修やメンテナンス時の本機のオペレーションは、煩わしい操作を全く必要とせず、画面に軽く触れるだけで素早く行えます。
縫い数の積算カウンター表示や下糸の残量表示(注:実際の残量ではなく、計算値で残量ゼロを予測するものです)も用意されており、下糸残量の計算値がゼロになると、画面が赤色警告表示に切り替わり、下糸交換タイミングをお知らせします。
縫い始めや縫い終わりが布端ではなく、素材の中間での縫い停止や飛ばし縫い、途中からの縫い出し等が必要な場合、セット定規のメジャーを見てその数値をタッチパネルに入力するだけで、簡単に設定が可能です。

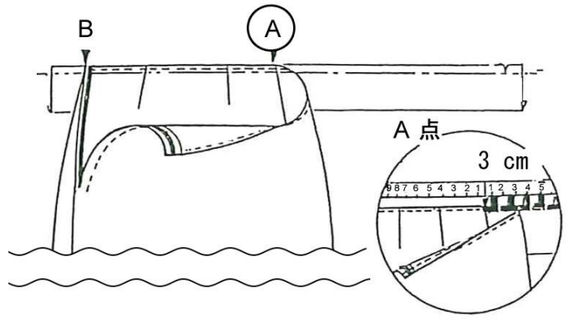
ズボンのベルト付けの寸法管理が正確に行えます



ズボンのベルト付けも、ベルトサイズに身頃を合せ、正確な位置に身頃をセットすることができます。ベルトと身頃の 2 枚を別々に重ねてセットすることができ、ズボンのサイズ管理が容易に行えます。

ズボンやスカートの帯付けに最適

ズボン帯付けなど 2 枚にセパレートされているベルト付けはもちろんのこと、スカートの帯付けなどの 1 本ベルト付けなどにも、スイッチの切替えひとつで自由に使い分けが可能です。



スカートなど 1 本ベルトの帯付けでは、ベルトの中心 A から半身をセットして、A 点で 5 番グリップとミシン針が下死点で停止し、縫われた箇所を離します。
再度、残り右半身をセットして縫い終わりと同時にスタッカーで積み重ねをします。この様な操作で 1 本ベルトの帯付けが行えます。

正確な位置合わせ

2 段グリップ装置は、中間位置や両端位置など、任意の位置から順次保持していくことが可能な上、途中の離し等でネームの挿入や、途中での 3 枚重ね 4 枚重ねのセットなど、2 段のグリップが自由自在に掴む・離すを行える、高い自由度を備えています。

ファスナー付けへの応用（要相談）

本自動機はズボンのベルト付けが主な用途ですが、ジャンパー等のファスナー付けにも応用が可能です。

↑ファスナーのエレメント（務歯）が奥側

↑ファスナーのエレメント（務歯）が手前側

注：　ファスナーには様々な仕様がありますが、本機が対応可能な仕様は、その一部に限られます。ファスナー付け用途をご希望のお客様には、必要なファスナーの仕様を個別にお知らせいただき、弊社にて個々のファスナー付け仕様が実装可能かどうかを検討の上、お知らせいたします。

スタッカー装置でオーバーラップ・ワークフロー

スタートペダルを踏んでからは、積み重ねまで全て自動的に行われ、作業者は手を添える必要がありません。作業者はスタートと同時に次の素材準備が行えるため、縫いとセット作業が同時進行し、初心者でも高能率な作業が行えます。縫い終わりは積載量の大きなスタッカー装置で自動積み重ねを行います。